

Implant Today

KYOCERA IMPLANT TODAY

Colloquium
Information

京セラ臨床コロキウム 11月23日京都で開催

「進化し続けるインプラント治療」

POIシステム臨床応用10年を迎えて



基調講演

「POIシステム10年の臨床を振り返って」

山上 哲賢 先生
(京都インプラント研究所所長)



招待講演

「Ridge Augmentationの可能性と限界」

山道 信之 先生
(福岡市開業)



特別講演

「POIシステムNewフィクスチャーの多様な臨床応用」

糸瀬 正通 先生
(福岡市開業)



シンポジウム 補綴前外科と審美修復

「韓国の審美インプラントの現状」
Kim, Sang-Ho 先生

「POIシステムに応用した審美修復補綴のポイント」
杉山 貴彦 先生 (新潟市開業)

「歯周外科を応用したインプラントの審美修復」
水上 哲也 先生 (福岡県宗像市開業)

「POIシステムを用いた再生治療のニューコンセプト(PRPの臨床応用)」
加藤 英治 先生 (目黒区開業)

一般講演

「POIシステム植立術式における臨床的考察」
江原 雄二 先生 (大阪市開業)

「インプラント治療の為の身近になったCT画像診断」

村井 健二 先生 (京都市開業)

「コーヌスクローネとTESLOXシステムの併用症例」

鈴木 龍 先生 (静岡県袋井市開業)

日程：2001年**11月23日**(祝)
会場：**京都宝ヶ池プリンスホテル
プリンスホール**
主催：京セラ株式会社

参加費：
歯科医師 20,000円(昼食・消費税込)
大学関係者 10,000円(昼食・消費税込)
コ・ディンタルスタッフ 5,000円(昼食・消費税込)
常勤教員、大学院生、学生

参加ご希望の先生は、本誌添付のコロキウム参加申込書でお申し込み下さい
(詳しくは本誌7頁をご覧ください)。

CONTENTS

「インプラント治療に必要な骨環境改善について」
福岡市開業 山道 信之
2-3

「POI Systemの
技工について」
芝崎 広幸
大矢 総一郎
4-5

「製品紹介
・ラッピングツール・バイトビルダー」
「IDS報告」
「研修会のご案内」
「コロキウム参加申込方法」
6-7

「インプラント周囲の
ティッシュ・マネージメント」
佐藤 直志 著
「NEW～インプラント・
ハンドブック～」
8

インプラント治療に必要な骨環境改善について

福岡市開業 山道 信之



初めて、インプラントという言葉を目にしたのは1972年神奈川歯科大学を卒業し、九州大学歯学部歯科補綴学第二講座(末次 恒夫教授)に入局した時でした。約30年前にはJournal of Oral and Maxillofacial Surgeryに口腔再建の一分野としてインプラントがクリニカルケースとして時々紹介される程度でした。末次教授は将来、補綴を主訴とした治療にインプラントが必要とされる時代が訪れる時のために、国内でインプラントのバイオニアの一人であった、山口県宇部市で開業されておられた故山根 稔夫先生を私に紹介されました。そこでは欠損補綴の治療法として、今日のようにインプラントが応用されていました。当時は骨のあるところに、ブレードタイプのインプラントを埋入するのが主流であり、吸収している顎堤にはサブペリタイプのインプラントで固定性補綴がなされていました。「患者さんは口の中で動くものよりも動かないものを選択され、またその方が喜ばれています。」この山根先生の言葉が今日でも印象に残っており、私の臨床に役立っております。

1973年頃、山根先生の診療所で、福岡市開業の糸瀬 正通先生に偶然にも一緒になったことが数回ありました。「山道先生は何回も手術の見学をされていますが、インプラントはどう思われますか?」と糸瀬先生より質問され、「ブレードタイプや棒状の骨内インプラントは考えられますが、サブペリタイプは手術時の出血や術後の腫脹等を考えると私には出来ません。」と、冷や汗をかきながら答えたことを覚えています。

1975年にナノロジー学の研修に努め

ながら、福岡市の天神で開業し、インプラントとは離れた診療をしていました。ある日、糸瀬先生より福岡市開業の河原英雄先生のインプラントの見学に行かないかというお誘いを受け、幸運にも河原先生のオベを見学する機会を得ました。そこでは、京セラのバイオセラムが顎骨の中にしっかりと植立されるさまが今でも脳裏に焼き付いております。それを機会にインプラントを自分の臨床に取り入れることが出来ました。

その後、臨床を重ねていくうちに、顎堤が吸収してインプラントが植立困難な症例では、インプラント部位と局部床義歯が混在する補綴となり、患者も私も十分な満足が得られないことを経験するようになりました。そんな折、「4~7」部位の顎堤の吸収が顕著で、インプラント植立不可能な症例に出会い、当時推奨され

ていたハイドロキシアパタイト(HA)による骨造成をおこない、7~5 | 4~7の局部床義歯を装着していただきました。3年後、鉤歯の動揺のため局部床義歯をあきらめ、バイオセラムインプラントを同部位に植立いたしました。16年が経過して、インプラント周囲をデンタルX線像にて観察してみますと、造成を行った部位に埋入されたインプラント周囲には骨吸収が殆ど認められません(図1、2)。この患者さんの経過観察の結果をきっかけとして、天然歯が存在した状態に顎堤の環境を改善し、その後にインプラントを植立するやり方を私の臨床に取り入れるようになりました。歯牙が元あった場所にインプラントが埋入されると、生体力学的なリスクが少なく、また舌房を侵害されたり、審美的に問題が生じることが少ないなど、補綴物の予知性の向上につながることを



図1. ハイドロキシアパタイトによる骨造成を行い、バイオセラム植立16年後の咬合面観。

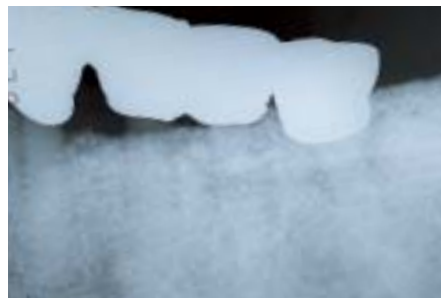


図2. 術後16年目のデンタルX線。インプラント周囲に骨吸収は見られず安定している。



図3. Gore-tex membraneを応用し、9年経過後の側方面観。



図4. POIインプラントの周囲骨は問題なく、9年経過後のデンタルX線像。

多くの症例を通して実感いたしております。

1992年、POIインプラントにGore-tex membraneを初めて応用した症例ですが、9年間何の問題なく経過しております(図3、4)。また現在ではチタン補強型メンブレン(TR GTM)にグラフト材料を併用することで、顎堤の吸収が大でインプラント植立が一見不可能と考えられる症例においてもインプラント植立を可能とすることが出来るようになりました(図5、6)。

さらに、上顎洞の存在により不可能とされてきた上顎臼歯部のインプラント補綴においては、1980年Boyneにより発表されたサイナスリフトが今日多くの開業医により行われています。私は1992年よりサイナスリフトに各種グラフト材料を応用した骨環境の改善をおこない、上顎においても歯列が本来存在した

位置へ、十分な長さの、1歯に1本を基本としたインプラント埋入を行っています。また同時に、ラフサーフェイスを有するフィクスチャーを使用することで、より確実なオッセオインテグレーションが可能となりました(図7、8)。サイナスリフトの術後3年半経過時のCT像です(図9)。サイナスリフト10ヶ月後の組織像ですが、大きい新生骨の周囲にHA顆粒が緊密に接着し、骨新生の起点となっている可能性が示唆されました。上方のDFDB顆粒周囲には新生骨が複雑に取り巻き、DFDBの良好な骨伝導像が伺われます。また、新生骨にHA顆粒が完全に取り囲まれている像も認められ、移植材料と骨との良好な組織親和性が観察されます。なお移植材料が線維性結合組織により被包化された部位は見られません(図10、11)。

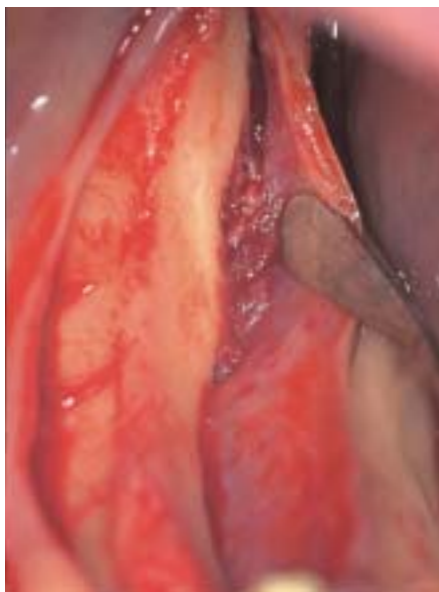


図5. 顎堤の吸収が大でインプラントの植立が不可能と診断される症例。



図6. GBR 1年経過後の咬合面観。十分な骨造成が認められる。



図7. サイナスリフト後に骨補填材を注入。骨壁にグラフトを行う。



図8. サイナスリフト後、同時埋入にファイナタイト(京セラHAコーティング)応用。



図10. サイナスリフト10ヶ月後の組織像。

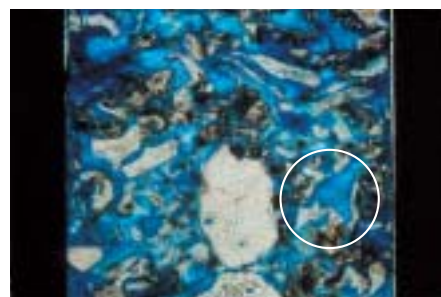


図11. 新生骨の周囲にHA顆粒が緊密に接着し、骨新生の起点となっている。

よってインプラント周囲の骨は十分に存在しており、今日まで問題なく経過しています。

私自身もっとも困難と考えていた上顎前歯部の垂直的骨造成も2～3mm程度であれば、また臼歯部では3～4mm程度であれば、可能となりつつあります。機会があれば論文にて発表したいと考えております。

今後、インプラントと各種グラフト材料のさらなる開発により、ますます機能的でより審美的な補綴が可能となっていくものと考えます。



図9. 術後3.5年のCT像 7 | 7 部位での前頭断を示す。頰側および舌側の骨が十分に存在していることがわかる。

POI Systemの 技工について

～バイトビルダー、ラッピングツール～

再建歯学研究所 芝崎 広幸・大矢 総一郎



インプラント補綴を行う上でフィクスチャ - に対して有害な圧力を与えない咬合負担様式また、咬合圧を正確にフィクスチャ - に伝えるメタルフレ - ムの適合性などの条件は必要不可欠である。その為には口腔内状態を正確に作業模型上にトランスファ - しなければならない。私達がPOIシステムに携わり最も多い症例は下顎臼歯部欠損症例であり、中でも遊離端症例の頻度はかなり高い。しかしながら遊離端症例においてはインプラント補綴に限らず、口腔内の状態を正確に再現し咬合器に装着する事が困難な症例も多々ある。

今回はバイトビルダ - を用いた咬合採得、合わせてスクリュ - 固定式補綴物の埋没、鑄造操作など技工作業における不安定な要

バイトビルダ -

バイトビルダ - を用いたバイトブロックの 製作工程



1 アナログ模型上に技工用コロナルスクリュ - でバイトビルダ - を固定し、おおよそ対合歯を偏心運動させても干渉しない適当な高さに調整する。バイトビルダ - はカ - ボランダムポイントもしくはサンドブラストで、あらかじめ表面を粗面にしてから使用する。



2 プラスチックバ - などバイトビルダ - 同士を連結、補強しパタ - ンレジンを用いてレジンテ - プルを作製する。レジンテ - プル上面には咬合採得用シリコンの復位が確実に得られるように回転防止溝を付与する。



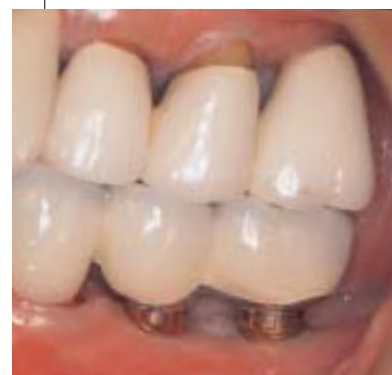
3 レジンテ - プルを口腔内に試適し適合を確認した後、コロナルスクリュ - で固定する。通法に準じ咬合採得用シリコンを用いて欠損状態に応じた咬合採得を行う。



4 咬合採得を終えたバイトブロックを模型上に戻し、通法に従い咬合器に付着する。

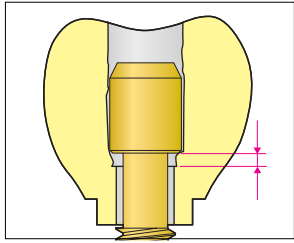
バイトビルダ - を用いた バイトブロックを使用する利点

- ・ 正確な咬合位を模型上で再現できるため補綴物装着時の調整が少ない。
- ・ レジンブロックの適合状態から印象精度の確認ができ作業工程の確実なステップを踏むことができる。
- ・ 試適段階でのアクセスホ - ルの位置や歯肉の状態など口腔内の様々な情報を把握できフレ - ムデザイン決定の指針となる。
- ・ 結果的に口腔内での調整時間が少なくなりチェア - タイムの短縮につながり患者への負担が少なくなる。

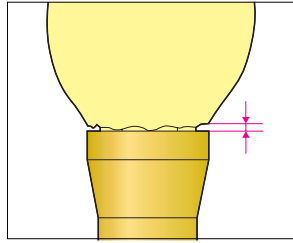


ラッピングツール

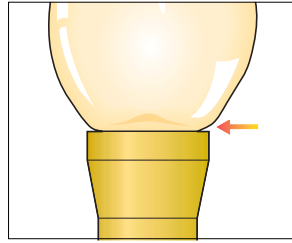
コネクタ - の適合調整



スクリュー - ホール底面の鑄造荒れ



鑄造体の座面の面荒れ



鑄造体の研磨によるダレ

スクリュー - 固定式補綴物を作成する際プラスチックコネクタ - 類は鑄造、研磨操作などによりスクリュー - ホール内壁、底面、嵌合面などに面荒れを起こし補綴物の適合不良が生じる事がある。



ラッピングドライバ - A



ラッピングドライバ - B(R/ST)



ポリッシングプロテクタ - (R/ST)

- ・ラッピングドライバ - A
アクセスホール内部の小突起除去、
コロナルスクリュー - 固定部の調整用
- ・ラッピングドライバ - B (R/ST)
コネクタ - 嵌合面の微調整用
- ・ポリッシングプロテクタ - (R/ST)
研磨時のコネクタ - 嵌合面の保護

ラッピングツ - ルを用いた研磨工程



1 鑄造後、鑄造体に洗浄、酸処理を行い、埋没材を完全に除去する。ラッピングドライバ - Aを鑄造体咬合面側よりアクセスホールに挿入し抵抗が無くなるまで用手的に右回転させて内面を調整する。(コロナルスクリュー - の台座への座りを向上させる。)

2 鑄造体咬合面側からラッピングドライバ - Aを挿入しておきラッピングドライバ - Bを技工用ハンドピースに装着し低速で回転させながら鑄造体より突出したラッピングドライバ - Aの先端をガイドにしてラッピングドライバ - Bを軽く押し当てる。(コネクタ - 嵌合面の適合状態を向上させる。)



3 適合調整、模型上での適合確認を終えた鑄造体嵌合面にポリッシングプロテクタ - を適合させ技工用コロナルスクリュー - にて固定し嵌合面を保護しながら研磨作業を行う。



注 意



- ・ラッピングドライバ - A、Bは切削器具ではないので、微調整の範囲で使用する。
- ・ラッピングドライバ - Bを過度に使用すると嵌合面部に適合不良を招く場合がある。
- ・ポリッシングプロテクタ - は消耗部品なので再使用は避ける。

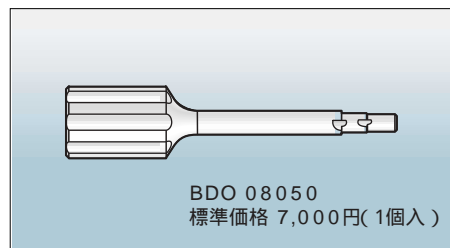
考 察

私達が日常、インプラントを用いて臼歯部補綴を行う上で上部構造体としては、セメント合着、スクリュー - 固定、など様々な選択肢が挙げられる。しかしながらご周知の通り、それぞれにおいて利点、欠点がある。何を選択するか個々の症例により十分に考慮すべきではあるが、私達の勤務する診療所は臼歯部欠損症例においては複数本のフィクスチャ - 支持によるスクリュー - 固定式を多用している。臨床を行う上でチェア - サイドとラボサイドとが的確に情報を伝達し合い、さらに双方がインプラント補綴における上部構造体には高い精度が必要であるという認識を持って作業を進める事が重要であり、今回紹介したバイトビルダ - 及びラッピングツ - ルはスクリュー - 固定の優れた補綴物を製作するには有効かつ必要不可欠なパ - ツであると思われる。

製品紹介

～ラッピングツール/バイトビルダー～

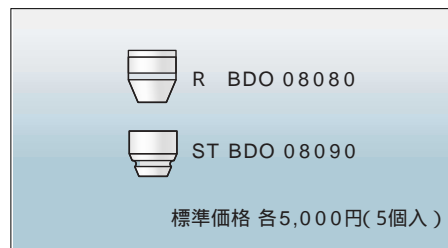
ラッピングドライバー-A



用途

- ・アクセスホール内部の小突起除去
- ・コロナルスクリュー座面接地部の調整

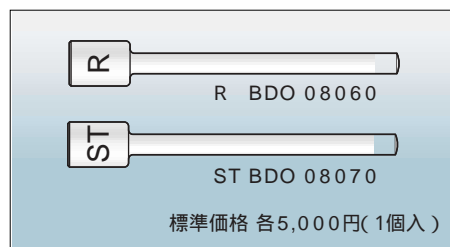
ポリッシングプロテクター



用途

- ・研磨時におけるコネクター嵌合部の保護

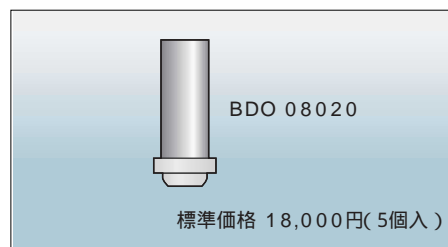
ラッピングドライバー-B



用途

- ・フィクスチャーとコネクターとの接合面の調整

バイトビルダー



用途

- ・フィクスチャー上での咬合を採得する際に使用

セット包装

ラッピングツールセットR

- ラッピングドライバー-A
- ラッピングドライバー-B(R)
- ポリッシングプロテクター(R) 各1個入

BDO 08030
標準価格 13,000円

ラッピングツールセットST

- ラッピングドライバー-A
- ラッピングドライバー-B(ST)
- ポリッシングプロテクター(ST) 各1個入

BDO 08040
標準価格 13,000円

REPORT

IDS-第29回国際デンタルショー

去る2001年3月27日(火)～31日(土)まで、ドイツ連邦共和国のケルン・メッセ会場において第29回国際デンタルショーが5日間にわたり開催された。2年に1回開催されるこの国際デンタルショーは、出展者、来場者ともに世界最大級であり、近年日本からの来場者も急増している。今回、初めて参加させて頂き、まず驚いたことは会場の広さである。ケルン・メッセ会場全体は日本では想像がつかないほどの規模で、このデンタルショーの会場のみでも日本有数の展示会の何倍もの規模があった。その出展業者の数の多さと同時に、ロシア、イタリア、イスラエル、韓国等さまざまな国からの出展があり国際デンタルショーの神髄を感じ得たような気がする。世界各国から新製品が出展されており、興味深く展示会場を見て回ることが出来たが、仕事柄、インプラントに関連する商品にどうしても目がいってしまう。情報収集活動に3日間歩き回り疲労困憊ではあったが、今後の商品開発に大変参考になったことは間違い無い。先生方には商品の形で成果をご提供出来ればと思い、帰国後も海外業者とのやり取りに四苦八苦(英語が苦手な私としては)の状況である。

(文: 京セラ(株)バイオセラム事業部 松尾 泰宏)



POIシステム 研修会

コース内容	日程	開催地
ベーシック I コース	7月20日(祝)	新潟
	7月29日(日)	東京
	8月26日(日)	鹿児島
	9月2日(日)	東京
	9月9日(日)	金沢
	10月8日(祝)	福岡
ベーシック II コース	10月14日(日)	大阪
	10月27日(土)・28日(日)	福島
手術見学コース	7月29日(日)	大阪
	9月30日(日)	名古屋
アドバンス 補綴コース	8月5日(日)	東京
	8月26日(日)	大阪
アドバンス 診断コース	8月5日(日)	名古屋
アドバンス リカバリーコース	8月5日(日)	大阪
	9月15日(祝)	東京
テクニシャンコース	10月21日(日)	名古屋
アシスタントコース	9月2日(日)	名古屋
	10月21日(日)	大阪

POIシステム 長期研修コース

短期のコースではインプラントの導入まで至らなかった先生や、より確実にインプラントの導入をお考えの先生のために、開催されています。奮ってご参加下さい。

インプラントの実践 4ヵ月コース

診断からメンテナンスまで
I.C.G研究会

講師
 糸瀬 正 通 先生(福岡市開業)
 元 永 三 先生(福岡市開業)
 張 在 光 先生(福岡市開業)
 馬 場 夏 樹 先生(エイトデンタル開業)

第16期日程	
第1回目	平成13年8月4日(土)/5(日)
第2回目	平成13年9月1日(土)/2(日)
第3回目	平成13年10月6日(土)/7(日)
第4回目	平成13年11月3日(祝)/4(日)
会 場	全労済マルチ天神ビル 9F第一会議室 〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1-1-7 TEL 092-761-0180
定 員	歯科医師15名(定員になり次第締切)
参加費	50万円(研修・材料・教材・昼食・懇親会費含)

実践インプラント in 東京

会場:
京セラ(株)
原宿事業所 2F会議室
〒150-8303
東京都渋谷区神宮前6-27-8
TEL 03-3797-4616
FAX 03-3486-2739

*時間帯は全日程共
10:00~17:00です。

コース	日程
補綴応用2日間 会費:10万円 小松 繁樹 先生 日本歯科大学新潟歯学部 歯科補綴学第2講座講師 多和田 泰之 先生 日本歯科大学新潟歯学部 歯科補綴学第2講座講師	10月7日(日)
杉山 貴彦 先生 新潟県新潟市開業 日本歯科大学新潟歯学部 歯科補綴学第2講座 非常勤講師	10月8日(祝)
GBR応用コース 会費:5万円 張 在光 先生 福岡市開業	10月14日(日)
オグジュメンテーションコース 会費:5万円 糸瀬 正通 先生 福岡市開業	10月21日(日)

POIシステム 講演会

糸瀬・山道セミナー ~ Session 2001 ~

「P.O.I.インプラントシステムの現在と今後の展望について」糸瀬 正通先生(福岡市開業)

「インプラント治療に必要な骨環境改善について」山道 信之先生(福岡市開業)

開催日程: **A日程** 平成13年7月1日(日)13:00~17:00 大阪会場 千里ライフサイエンスセンター

B日程 平成13年9月9日(日)13:00~17:00 広島会場 広島YMCAホール

C日程 平成13年9月16日(日)13:00~17:00 名古屋会場 名古屋国際会議場

会 費: 10,000円

参加申込方法: 右記申し込み書に必要事項をご記入の上ご返送下さい。後日ご連絡致します。

コロキウム参加申込方法

右記申込書に必要事項を記入の上、ご返送下さい。参加費/歯科医師 20,000円(昼食・消費税込)
 ご返送後、下記口座に参加費をお振込下さい。大学関係者 10,000円(昼食・消費税込)
 ご入金を確認したのち、参加票を送付致します。コ・デンタルスタッフ 5,000円(昼食・消費税込)

振込先

三和銀行 京都支店
 普通預金口座: 1348506
 口座名: 京セラ(株)コロキウム

常勤教員、大学院生、学生

恐れ入りますが、お振り込み手数料は各自でご負担いただきますようお願い申し上げます。
 また、参加費用の返却はいたしかねますのでご了承下さい。

インプラント周囲のティッシュ・マネージメント

佐藤 直志 著

本書は、インプラント補綴による審美的で良好な結果を得るために、歯周形成外科のテクニックを軸としたインプラント周囲のティッシュ・マネージメントの種々の方法を論じた歯周外科のテキストである。ティッシュ・マネージメントの成果を確かなものにするためには、診査・診断、インプラント外科、歯周形成外科、補綴処置などのそれぞれの処置を巧みに関連づけた包括的なアプローチが大切である。また、歯槽堤増大手術を行う場合、歯周形成外科の個々のテクニックを各症例ごとに組み合わせることで複合して用いたり、また多重手術のアプローチを行うことにより、満足できる治療経過を得ることが可能となる。

本書の執筆にあたっては、理解を容易にするために、詳細な治療ステップの口腔内写真を豊富に使用し、きめ細やかに治療経過を示し、また、図説はできる限り詳細に記述することを心がけた。

248ページ
A4変形ワイド判
カラー写真 1,356点
イラスト 79点
定価 本体 28,000円(税別)



クインテッセンス出版株式会社

インプラント・ハンドブック



インプラント・ハンドブック(24頁)
標準価格 10,000円(50冊入り)
BDM02410

患者さんのインプラントに関する疑問をQ&A方式で分かりやすくお答えする患者向け小冊子です。「インプラントとは何ですか?」や「従来の治療方法とどこがちがいますか?」などインプラント治療に関する様々なことを、詳しく解説しております。



INDEX
治療方法 / インプラントの素材
従来の治療法との違いとメリット
実際の治療について
寿命と手入れ
治療の条件 / 治療期間と仮の歯
治療費 / 治療後の注意
京セラのインプラント
インプラント体験談
あなたのお口の状態

京セラ株式会社
〒612-8501 京都市伏見区竹田鳥羽殿町6
<http://www.kyocera.co.jp/>

KYOCERA バイオセラム事業部

製品に関するお問い合わせは下記へ
東京営業所 〒150-8303 東京都渋谷区神宮前6-27-8(京セラ原宿ビル2F) TEL 03-3797-4616 FAX 03-3486-2739
京都営業所 〒612-8501 京都市伏見区竹田鳥羽殿町6 TEL 075-604-3449 FAX 075-604-3450
大阪営業所 〒532-0003 大阪市淀川区宮原3-5-24(新大塚第一生命ビル3F) TEL 06-6350-4696 FAX 06-6397-8233
九州営業所 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南2-9-11(福岡山書ビル9F) TEL 092-472-6933 FAX 092-472-6938

A7T010630T/003770